

No. 10

# 県央・湘南の 環境と共生する都市づくり

## NEWS ● 2004. 7

● みんなで考え、行動する環境共生の都市づくり通信 ●



相模川を渡る新幹線700系（寒川町倉見～平塚市大神付近）

### 目 次

- 2～3P ツインシティの都市づくり～行政と企業・団体との協働研究～
- 4～5P いま、県央・湘南都市圏では
- 6P コラム「新駅に期待する」
- 7P ツインシティの都市づくりへ向けて
- 8P 県央・湘南の魅力再発見／神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会



### 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

〔 神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会 〕

# 特集

# ツインシティの都市づくり ～行政と企業・ 団体との協働研究～



## 戸建て住宅型エネルギー自立街区

環境にやさしく、経済的に優れ、災害に強いエネルギーシステムを持った都市を形成することをコンセプトに、「環境調和型エネルギー都市の研究」が提案されました。

具体的には、土地利用計画において、エネルギーの効率的な利用の観点からも最適となる配置計画を行った上で、太陽光発電(PV)、燃料電池(FC)\*1、ガスエンジン(GE)\*2、マイクロガスタービン(MGT)\*3といった分散型エネルギーシステムを集中的に導入し、環境負荷の低減及び熱と電気の効率的な供給を図ろうとするものです。

このうち、「戸建て住宅型エネルギー自立街区」は、まとまった住宅地において、こうした分散型エネルギーシステムを導入する可能性を研究したもので、平成15年度には実現性のある基本的なシステムの検討や、それを導入した場合のエネルギー削減効果などについて推計しました。

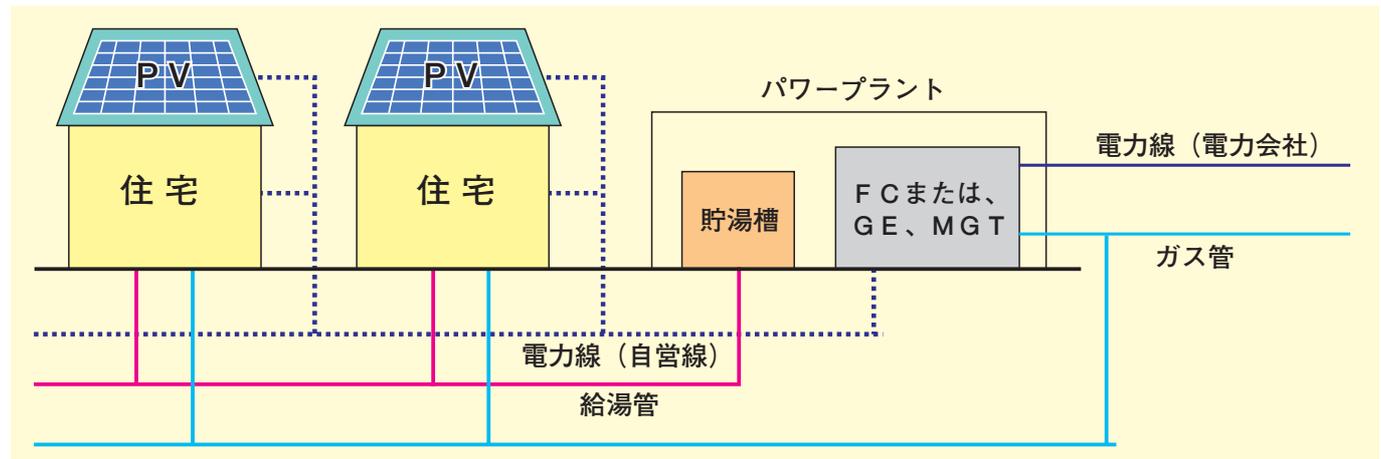
### 【基本的なシステム】

○1街区に1箇所のパワープラントを設け、燃料電池またはガスエンジン、マイクロガスタービンを動力源とする小規模コジェネレーションシステム\*4による発電と、各戸に設置する太陽光発電設備による発電で各戸に電力を供給する。また、コジェネレーションシステムの排熱を利用した大型の貯湯槽を設置し、各戸に温水を供給する。

○太陽光発電及び燃料電池から出る余剰電力は、鉛蓄電池等を活用した蓄電装置で貯蔵し、他の住戸に供給する。電力が不足する場合は電力会社より買電し供給する。



- \*1 燃料電池(FC) . . . . . 水素と酸素を化学的に反応させ、電気と熱を取り出すシステム。
- \*2 ガスエンジン(GE) . . . . . 都市ガス等の気体燃料をエンジンで燃やして発電する。排熱を回収し温水や蒸気を製造する。既に商品化されている。
- \*3 マイクロガスタービン(MGT) . . . . . 都市ガス等の化石燃料を燃やし、燃焼ガスでタービンを回して発電する。排熱を回収し温水や蒸気を製造する。
- \*4 コジェネレーションシステム . . . . . ガスあるいは石油等の燃料を燃やして発電を行うと同時に、発生する排熱を蒸気や冷暖房等に利用するシステム。



県では、民間企業や団体の持つ新しい発想や技術・情報をツインシティの都市づくりに活かすことを目的として、平成13年度から2年間にわたり、公募で選定した8つのグループとともに協働研究を行いました。平成15年度には2年間の研究成果を発表し、現在も研究成果の具体的な実現に向けて、企業グループと共にさまざまな取組みを進めています。このうち、研究会テーマの一つである「環境調和型エネルギー都市の研究」で提案された、「戸建て住宅型エネルギー自立街区」について、モデル事業としてさらに検討を深めています。また、「みどりの複合的効果とグリーンインフラの研究」については、研究グループが主体的に「GIP(ジップ)～みどりによる都市づくりを推進する会～」を設立し、「みどり」を通じた都市環境の改善などに取り組んでいます。ここでは、「行政と企業・団体との協働研究」の成果を生かしたこの2つの取組みについて紹介します。

**【導入効果】**

本システムを導入することによる一次エネルギー消費量削減等の効果を従来型システムとの比較で試算したところ、次のような結果が得られています。

(※削減数値は従来型システムとの比較結果による最大値)

- ・ 1次エネルギー消費量      63%削減
- ・ CO<sub>2</sub> 排出量                      71%削減
- ・ NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub> 排出量          100%削減
- ・ 電気料金+ガス料金          86%削減

(街区規模は4,000～6,000m<sup>2</sup>程度、戸建て住宅20～30戸、戸当たり敷地規模は200～300m<sup>2</sup>程度を想定。)



戸建て住宅型エネルギー自立街区のイメージ

**【今後の展開】**

今後は、このシステムの実用化を目指し、更に研究を積み重ねていきます。

**【お問い合わせ先】** 神奈川県県土整備部県土整備総務室環境共生都市整備担当  
電話 (045) 210-6036 FAX (045) 210-8879

**GIP(みどりによる都市づくりを推進する会)の活動**



GIP (Green Infrastructure Partnership) は、『「みどり」の複合的効果とグリーンインフラの研究』をテーマとした研究グループが中心となり、平成15年7月に設立した団体で、平成16年6月1日現在、法人会員40社、団体会員1団体、個人会員27名が加入しています。今後の積極的な活動の推進を図るため、現在、「特定非営利活動法人GIP」設立に向けての準備を進めています。

**【活動内容】**



心身の回復機能を考慮した屋上緑化のイメージ

- (1) 環境共生都市づくりや都市緑化技術等に関する調査研究
- (2) 「みどり」を通じた都市環境改善事業の実施およびその効果の検証
- (3) 「みどり」を通じて都市の環境改善を推進する実行体制の研究
- (4) 地域・企業・行政などへの具体的な提言とその実現に向けた活動
- (5) 「みどり」の普及啓発のため、グリーンフォーラムなどの開催
- (6) 「みどり」を通じたまちづくりを推進する講座、研修会等の企画、運営
- (7) 地域、学校等への「みどり」講師の派遣

**【GIPに関するお問い合わせ先】** 事務局：財団法人 神奈川県公園協会  
横浜市中区尾上町5-80 電話 (045) 633-5211

## いま、県央・湘

このコーナーでは、県央・湘南都市圏

## 市町村の取組みから

## 海老名市・環境保全対策支援事業

海老名市では、地球にやさしい社会の実現に向けて、市民のライフスタイルや環境に対する意識の向上を図るため、平成12年6月より、「環境保全対策支援事業」を実施しています。



地球温暖化の大きな要因は、化石燃料の消費に伴う二酸化炭素の大気中への放出です。その発生源は主に自動車や火力発電等であり、日常生活の中で、自動車の利用を控えるなど、省エネルギーに努める必要があります。

また、都市化の進展に伴うインフラ整備は、河川水の減少等をもたらし、河川の浄化作用等を損なう面があることから、節水や雨水の有効利用等、水環境に配慮した取組みを進めることも大切です。

このような問題は、日常生活や事業活動による影響が大きいことから、海老名市では地域レベルからの環境保全の取組みとして、太陽光等未利用エネルギーの活用、省エネルギーの推進、雨水利用等水環境の構築などを市民と一体となって推進していくための支援制度を創設しました。

この制度は、雨水活用施設、太陽光発電施設、太陽熱利用施設、風力発電施設、低公害車、省エネナビ及び高効率給湯器の7種類を環境に配慮した施設として、市民が設置・購入する場合、その費用の一部を補助するものです。

事業開始当初は、補助の対象となる施設は5種類でしたが、その後、電力使用量を目で見えるようにして省エネの意識啓発を図る「省エネナビ」や、家庭の消費エネルギーの1/3が給湯によるものであることから、「高効率給湯器」を対象に加えました。

このような支援制度の充実等もあり、認定件数は、事業を開始した平成12年度の29件から年々増加し、平成15年度は74件と、着実に利用が伸びています。

今後も、省エネ効果や、市場への普及状況等を踏まえ、対象施設や補助金額の見直しを行いながら、市民へのPRに努め、一層の導入促進を図っていきます。



雨水活用施設（「えびな環境展」から）



高効率給湯器（「えびな環境展」から）

お問い合わせは、海老名市市民環境部環境保全課  
電話 (046)231-2111 (代表)

# 湘南都市圏では

環境共生の取組みをご紹介します。

## 神奈川県内陸工業団地協同組合



## 企業の取組みから

県央・湘南都市圏では、企業の方々による環境との共生を目指した取組みが盛んに行われています。今回は、「ゼロエミッション工業団地」をめざす、神奈川県内陸工業団地協同組合の取組みを紹介します。



神奈川県内陸工業団地は、厚木市と愛川町にまたがる総面積 234 万 m<sup>2</sup> (東京ドーム約 50 個分) の工業団地です。昭和 38 年より分譲が始まり、40 年を経た今では立地企業 150 余社、従業員数約 13,000 人、年間出荷額約 3,000 億円という県下最大級の工業団地となっています。造成当時は丈の低かったグリーンベルトの樹々もすっかり成長し、みどり豊かな景観を形成しています。

ゼロエミッションとは、「排出物ゼロ」。従来の、排出を当たり前とする仕組みを改め、持続可能な資源循環型の社会をめざすことです。近年、工場からの排出物を自社内で再資源化することで、「ゼロエミッション」に取り組む企業が多くなりました。

内陸工業団地では、神奈川県中小企業団体中央会の支援と、国際連合大学の指導のもと、工業団地全体でのゼロエミッションへの挑戦が始まりました。

平成 13 年度に協同組合の環境委員会が参加企業を募り、紙、廃プラスチック類、金属ごみ等を、品目別にチームをつくり共同回収することから、取組みを始めました。今では 30 社余りの企業がこの取組みに参加するようになり、環境負荷の低減だけでなく、処理費用の削減にも効果を挙げています。

平成 16 年度からは、さらに多くの工業団地内企業に参加を働きかけ、さらなる効率化や回収対象品目の拡大を目指すとともに、ゼロエミッションに対し先進的な取組みを行う企業の育成など、より積極的な取組みを進めています。また、将来的には、行政と協働して「環境特区」申請を行い、現行の法規制の下では実施が困難な、廃棄物の工業団地内での処理を目標にしています。



みどり豊かな工業団地内

お問い合わせは、神奈川県内陸工業団地協同組合  
 電話 (046)285-0128 <http://www.kanagawa-nairiku.jp/>



## 新駅に期待する

このコーナーでは、県央・湘南都市圏の首長や業界団体の代表者の方々に新駅等への期待をお話いただきます。



藤沢市打戻の市道遠藤宮原線から富士山を望む

藤沢市は、平成3年に相模川以東の8市1町で結成した東海道新幹線湘南新駅設置促進協議会の会長市となり、新幹線新駅の誘致活動を推進してまいりました。その後、私が市長に就任した平成8年には、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会への一本化により、誘致体制の一層の強化が図られ、積極的な活動が展開され、現在に至っています。

本市は、「ふじさわ総合計画2020」のなかで、都市の将来像を「湘南の海にひらかれた生涯都市藤沢、歴史と文化と自然のネットワークするまち」と定め、都市間の交流・連携を目指した広域交通機能の整備を促進しております。さらに、2020年の将来を見据えた藤沢市都市マスタープランでは、活力を生み出し、環境と共生する「自立するネットワーク都市」を目指しており、ツインシティの実現と新幹線新駅の誘致によって、市民が自由にいきいきと暮らすための都市機能がより強化されていくものと考えております。

ツインシティ整備計画に基づく、寒川町倉見地区への新幹線新駅誘致が実現すれば、とりわけ藤沢市西北部地域における市民生活の利便性は、格段に向上することが見込まれます。また、第二東名、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路をはじめ、各地で高規格道路網の整備が行われています。本市では、将来湘南東部地域から新幹線新駅・寒川北インターチェンジへのアクセス道路となる市道遠藤宮原線の延伸事業を精力的に進めております。

広域的な都市交通ネットワーク整備の伸展によって、市内にある4つの大学の研究活動や事業所の企業活動が、よりダイナミックに展開して、地域経済の活性化につながることを期待しています。

今後とも期成同盟会、近隣市町及び関係機関と連携を図りながら、新駅誘致活動を促進するとともに、ツインシティ構想の早期実現を願うものであります。

### 「藤沢市の木・花・鳥」



市の木・クロマツ



市の花・フジ



市の鳥・カワセミ

藤沢市 山本 捷雄 市長



プロフィール

やまもと かつお  
昭和19年生まれ。  
昭和50年5月から藤沢市議会議員4期。  
昭和62年から平成元年まで藤沢市議会議長を務める。  
平成8年2月から藤沢市長、現在に至る。  
役職として、神奈川県市長会副会長など。

## ツインシティの都市づくりへ向けて

### 【地域の取組み】

ツインシティ整備をめざしている平塚市と寒川町では、地域に住む人たちが主体的に、ツインシティのまちづくりについて考える取組みが行われています。

このような取組みを中心的に進めるための団体が、平塚市では、自治会をはじめ地域で活動されている方々、寒川町では、自治会や生産組合、商店会等地域団体の方々を中心に組織されています。

- 「ツインシティ（大神地区）まちづくり検討委員会」  
(平塚市大神・平成14年12月設立)
- 「東海道新幹線（仮称）倉見新駅促進協議会」  
(寒川町倉見・平成16年2月設立)

いずれも、地域の方々が中心となり、まちづくりにかかる意見交換や勉強会の開催等、熱心な活動が行われています。



大神地区(上)、倉見地区(下)の会員による活動の様子

### 【ツインシティはいま】

ツインシティの都市づくりは、平成14年4月に策定した「整備計画」に基づき、次の4つの段階により進めていきます。

現在は、まちづくりなどの都市計画決定をめざし、第二段階である「仕組み・枠組みづくり」の取組みを進めています。



ツインシティの都市づくりについて、平成16年度は、まちづくりに係る事業計画の策定調査や環境アセスメントの実施に向けた事前調査を、神奈川県、平塚市、寒川町が共同して行うとともに、骨格となる広域的な交通施設の検討などを行います。

また、こうした調査、検討を進めながら、ツインシティのまちづくりについて、地元の方々の団体と話し合いを進めていきます。

### 【問い合わせ先】

- 神奈川県県土整備部県土整備総務室 寒川駐在事務所 電話 (0467)72-6352 FAX (0467)72-6353
- 平塚市都市整備部都市整備課 電話 (0463)23-1111(代表) FAX (0463)23-9467
- 寒川町都市部新幹線新駅対策課 電話 (0467)74-1111(代表) FAX (0467)75-9906

## 県央・湘南の魅力再発見！

新幹線新駅ができれば、魅力あふれるこの地域を全国の皆さんに発信することができます。今回は、県央・湘南地区の都市公園をいくつかご紹介します。

これからの季節、公園の木かげや水辺で夕涼み、なんていかがでしょうか。

詳しくは、(財)神奈川県公園協会ホームページでもご覧いただけます。  
URL:<http://www.kanagawa-park.or.jp/>

## 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）」では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。

去る5月13日、同盟会の平成16年度総会を開催し、新駅誘致と、ツインシティ整備の取組みを引き続き積極的に推進していくことが確認されました。さらに、同日の総会開催後に、新幹線新駅の寒川町倉見地区への設置について、JR東海に対し要望活動を行いました。

また、同盟会を構成する市町周辺の市町村などを加えて、「まちづくり検討協議会」を設置し、ツインシティをはじめ県央・湘南都市圏における環境と共生する都市づくりの検討・協議を進めています。

### 県・市町担当窓口

|      |              |                 |
|------|--------------|-----------------|
| 神奈川県 | 県土整備部県土整備総務室 | 045-210-6038(直) |
| 平塚市  | 都市整備部都市整備課   | 0463-23-1111(代) |
| 藤沢市  | 計画建築部都市計画課   | 0466-25-1111(代) |
| 茅ヶ崎市 | 都市部都市政策課     | 0467-82-1111(代) |
| 相模原市 | 都市部都市交通計画課   | 042-754-1111(代) |
| 厚木市  | 市政企画部企画課     | 046-223-1511(代) |
| 伊勢原市 | 市長公室企画調整課    | 0463-94-4711(代) |
| 海老名市 | まちづくり部都市計画課  | 046-231-2111(代) |
| 座間市  | 企画部企画政策課     | 046-255-1111(代) |
| 綾瀬市  | 総務部企画課       | 0467-77-1111(代) |
| 寒川町  | 都市部新幹線新駅対策課  | 0467-74-1111(代) |

東海道新幹線新駅の誘致活動については、期成同盟会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

発行

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会〔事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務室〕  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
電話：045-210-6038 ファックス：045-210-8879  
E-mail：kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています